

やさしい街づくり / 元気な長崎!

長崎市議会議員



いづわ清隆 だより 第53号

平成27年8月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：板山 孝宏 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



世界遺産に登録された端島炭坑（軍艦島）

長崎市も平成25年9月17日に国が世界遺産への推薦候補

7月5日にドイツ・ボンで開催された、国連教育科学機関(ユネスコ)世界遺産委員会が推薦した「明治日本の産業革命遺産」(長崎県など8県23施設)が諮問機関の勧告通り、世界文化遺産に登録されることと決定しました。

熱中症に充分に注意して下さい

今年も暑い日々が続きますが、水分補給などを行い熱中症に充分に注意して楽しい夏を過ごして頂きたいと思ひます。

私も4期目の市会議員として、市民の皆さんが「安全で安心して生活できる環境づくり」に向けて諸活動を積極的に

行っていく決意です。皆様方には更なるご指導・ご支援をよろしくお願ひ致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

改選後、初の定例議会
 さる、6月19日から定例本会議が開催されましたが、4月の市会議員選挙で40名の顔ぶれが大きく変わり、現職27名、暑さ厳しい候、皆さまに於かれましては益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

「明治日本の産業革命遺産」世界遺産に決まる
 元職3名・新人10名となり、改選前の議場と雰囲気が変わった感じとなりました。今後4年間、私も議員として精力的に諸活動に取り組む決意を新たにしました。

として決定後の翌日に全員協議会を開き市長より経過説明を受けて多くの質疑を行って頂きました。又、私が所属する市民クラブ(14名)は、同年10月15日に長崎市内の8候補地の調査を行いました、特に端島(軍艦島)に初めて上陸しましたが、学校・居住住宅・護岸を見て感じたことは、劣化が著しくひどく本当に保存が可能なかと感じました。

今回の世界遺産決定は素直に喜びたいとおもいますが、軍艦島の保存計画、現在も稼働している三菱重工(株)が所有する第三ドックやジャイアント・カンチレバークレーンが役目が終わった後の管理や資産を維持管理する為の費用、国内外から見学に訪れる皆さんの受け入れ体制など課題も多くありますので、改善策を含め早急に市議会も長崎市・関係先と連携を図らなければなりません。

ご相談はお気軽に!

長崎市女の都1丁目1444-13 自宅 ☎(844)9599

生活相談室 ☎(861)1985

私が思う「今後の社会保障の課題」

●市議会議員となって13年目となりますが、現在、国・そして全国の各自治体は共通する課題として人口減少対策について取り組みがなされています、人口が減少することにより各自治体での問題が大きいからです、私も議員になる前の会社員時代は人口が減少することによって市民生活がどのようになるかなど考えたこともありませんでした。しかしながら議員になって市民・住民の方と会話をする中で、健康保険料が高い・介護保険料が高い・年金だけでは生活が厳しいとの意見を多く聞くようになりました。私も議会の本会議や委員会で介護保険制度の改正による地方自治体の影響などについての議論をしています、抜本的な結論を見出すことは出来ない状況であります。

社会保障給付費の推移

	1970	1980	1990	2000	2014(予算ベース)
国民所得額(兆円)A	61.0	203.9	346.9	371.8	370.5
給付費総額(兆円)B	3.5(100.0%)	24.8(100.0%)	47.2(100.0%)	78.1(100.0%)	115.2(100.0%)
(内訳) 年金	0.9(24.3%)	10.5(42.2%)	24.0(50.9%)	41.2(52.7%)	56.0(48.6%)
医療	2.1(58.9%)	10.7(43.3%)	18.4(38.9%)	26.0(33.3%)	37.0(32.1%)
福祉その他	0.6(16.8%)	3.6(14.5%)	4.8(10.2%)	10.9(14.0%)	22.2(19.3%)
B/A	5.77%	12.15%	13.61%	21.01%	31.09%

●長崎市の定住人口は他都市に比べて大きく減少が予測されています。そのことにより超高齢化が進み、要介護者の増加・1人住まいの増加などにより孤独死の増加も予想されます。その対策として地域での見守りは大いに賛成しますが、地域包括支援センターを充実すると共に、在宅療養支援診療所・病院(24時間対応・往診・看取り)の報酬優遇の拡大をしなければならないと思ひます。

長崎市の定住人口の推移および年齢別人口割合

	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成17年	45.5万人	6.9万人(13.3%)	29.1万人(64.0%)	10.5万人(22.6%)
平成22年	43.7万人	5.5万人(12.5%)	27.2万人(62.2%)	11.0万人(25.3%)
平成27年	41.5万人	5.0万人(11.9%)	24.3万人(58.6%)	12.2万人(29.5%)
平成32年	39.1万人	4.5万人(11.4%)	21.7万人(55.5%)	12.9万人(33.1%)
平成37年	36.5万人	4.0万人(11.0%)	19.6万人(53.7%)	12.9万人(35.3%)
平成42年	33.8万人	3.6万人(10.5%)	17.7万人(52.5%)	12.5万人(36.9%)

※年少人口(0~14歳) 生産年齢人口(15~64歳) 老年人口(65歳以上)

●超高齢化で医療費の増大と介護費用の増大にどうように対応するか大きな課題だと思ひます。右肩上がりの医療費、医療技術の進歩(X線⇒CT⇒MRI)による医療費の増加、後期高齢者医療制度の保険料も配慮すると5,000円が限界と言われる中で月額1万円が可能なのかであります。又、少子化が進む中で看護師・介護士など必要な人材を本当に確保できるかであります。

◇高齢者1人を支える現役世代は何人?

1960年 1/11.2人	⇒	2010年 1/2.8人	⇒	2060年 1/1.3人
------------------	---	-----------------	---	-----------------

◇女性の結婚や出産の変化は?

	平均初婚年齢	生涯結婚しない割合	夫婦が持つ子どもの数
52歳の人(1960年生まれ)	25.7歳	10人に1人(9.4%)	2.07人
↓	↓	↓	↓
17歳の人はこうなる?(1995年生まれ)	28.2歳	5人に1人(20.1%)	1.74人

◇50年後の平均寿命は?

2010年 男性 79.64歳 女性 86.39歳	⇒	2060年 男性 84.19歳 女性 90.93歳
---------------------------------	---	---------------------------------

●上記の問題は一部であります、このようなことは国全体での課題でもあります。今後、長崎市も同様に、もっと細部についての実態を把握しながら諸課題の解決に早急に努めて行かなければなりません。

ホームページアドレス <http://www.k-itsuwa.com/>

一般会計予算は約6億6,800万円で 35議案を可決・同意!



平成27年6月議会

平成27年第3回長崎市議会定例会は、6月19日に開会し7月8日までの20日間の日程で開催されました。

6月定例会の補正予算は、一般会計予算のうち民間保育所の児童福祉施設整備事業費補助金3,299万4千円が減額され6億6,845万2千円、特別会計予算▲1億3,327万1千円の総額5億3,518万1千円に修正可決されました。

条例改正では、「長崎市特定個人情報保護条例」、「長崎市福祉医療費支給条例の一部を改正する条例」等は可決され、市立仁田小、佐古小の新設統合後の校名案「仁田佐古小」の「長崎市立小学校条例の一部を改正する条例」については、再度地元で協議することとし、一部修正可決されました。人事案件では三藤副市長の選任、教育委員会の馬場教育長の任命に同意しました。

また、「未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」「認知症への取り組みの充実強化に関する意見書」、「被爆70周年の決議について」採択し、「安全保障法制に関する法案の撤回を求める意見書に関する請願について」は賛成14、反対25の反対多数で不採択となりました。地方創生対策特別委員会、世界遺産・観光客受入対策特別委員会、長崎駅周辺再整備特別委員会を設置しました。

補正予算の主な内容

- ◆ 一般管理費事務費
(ふるさと納税に係る経費)
…6,459万2千円
がんばらば長崎市応援寄附金(ふるさと納税)における寄附金の増を図るため、寄附金に応じた魅力ある返礼品の充実・拡大などを行う。
- ◆ 文化施設整備事業費
ブリックホール
…2,480万円
長崎ブリックホールの利便性の向上を図るため、身障者用トイレにオストメイト対応設備等を設置するほか、エントランスに大型電子案内板を設置することなどに要する経費。

◆ 世界遺産登録推進費

世界遺産観光客受入費
…1,449万4千円

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産において、世界遺産登録を見据え、観光客の増加に対応した受入態勢の充実を図るもの。

- ・ 旧木型場(長崎造船所史料館)
- ・ 三菱重工業(株)が実施する受入態勢の充実に係る経費の一部について助成する。
- ・ 小菅修船場跡、高島炭坑北溪井坑跡
- ・ 土・日・祝日を中心に、案内対応を行う。



旧木型場(長崎造船所史料館)

◆ 高齢者安心火災警報器給付費

…1,800万円

心身機能の低下により防火等の配慮が必要な高齢者等のうち、一定の要件に該当する世帯について、ブザーにより火災発生を屋外へ発信するための警報器を設置するもの。

◆ 子ども医療対策費

…727万7千円

現在、小学校就学前の乳幼児を対象として実施している保険診療に係る医療費の一部助成について、平成28年4月受診分から対象を小学校卒業まで拡大したいが、これに伴う制度の周知及び申請受付等に要する準備のための経費。

◆ 児童福祉施設整備事業費補助金 民間保育所

…2億3,003万7千円

待機児童の解消と入所児童の保育環境の向上を図るため、民間保育所の定員増を伴う増改築等の施設整備に助成する。

【合計で30人の定員増】

- みはら保育園 (増改築 60人↓70人)
- 城山保育園 (増改築 60人↓80人)

補助率 3/4

◆ 観光施設整備事業費

観光施設ライトアップ設備整備
…5,000万円

夜景観光の人氣定着を図るため、ランドマークである稲佐山電波塔に、新たにライトアップ設備を整備する。

◆ 旧出島橋調査費

…1,680万円

出島表門橋架橋予定地の遺構確認現場から検出された旧出島橋の部材(約150石)について、出島史跡内に移設し、保存管理及び調査研究を行う。

◆ 耐震化推進事業費

旧三菱第2ドックハウス
…2,140万円

現在施工中のグラバー園旧三菱第2ドックハウスの耐震改修等工事において、建物のシロアリ被害等により、工事内容を追加するもの。

- ・ 総事業費 7,640万円
- ・ 事業期間 平成26年度～平成27年度

◆ 中小企業対策費

UIJターン就職促進費
…373万6千円

地場中小企業に対し、県外

議会の役割など

- 総務委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 雇用対策審議会委員
- 農業委員会委員

開催の企業面談会参加の経費を一部助成することで企業面談会への出席を促すほか、チラシ、ホームページの作成及び首都圏等の大学訪問により、採用意欲のある地場企業の情報発信等を行い、UIJターン者の就業機会の拡大を図り、企業の経営基盤の強化及び地元定住につなげるもの。

- ・ 補助率 1/2
- ・ 補助上限額 30万円

◆ 市営住宅指定管理費
…1,811万7千円

市営住宅における平成26年度の退去数が見込みを大きく上回ったこと及び、住戸の明け渡し時に実施する退去修繕の実施が遅延していたことに伴い、入居者募集時に指定管理費において実施する空家修繕に要する経費について、不足が生じるため補正するもの。

当初予算額 3億2,233万1千円

被爆70周年の決議

昭和20(1945)年8月9日11時2分、長崎市は一発の原子爆弾によって壊滅した。熱線と爆風、放射線などにより、約15万人もの人々が死傷し、「70年は草木も生えない」と言われた原子野が広がり、人々は希望も奪われた。

70年が過ぎた今、長崎市は緑豊かな国際文化都市として、復興と発展を遂げた。多くの先人の努力に改めてここに感謝と敬意を表したい。同時に、原子爆弾の後害に今も苦しむ被爆者の方々の存在を忘れてはならない。また、今なお被爆者として認められていない被爆体験者の切なる声を受け止めなければならない。そして、核兵器廃絶の願いが今なお達成されない冷徹な現実から、目をそらしてはならない。

2015年核不拡散条約(NPT)再検討会議は、合意文書も採択されないまま終了した。

核抑止力に依存しない非核保有国や平和首長会議をはじめとする世界のNGOなどが核兵器禁止条約に向けた取り組みを求めたが、核兵器を保有する国々が理解を示すことはなかった。

核兵器に頼ろうとする考え方の中にこそ、復興すべき本当の荒廃が広がっている。今、世界に存在するといわれる約1万6千発もの核兵器がくり出すかもしれない原子野に、核兵器を保有する国々は想像をめぐらせてみるべきである。

私たち被爆地の市民は、核兵器がどれほど非人道的な結果をもたらすのか、被爆者の思いを受け継いで、国際社会に訴えていく責務がある。

被爆70年に当たり、長崎市議会は市民総意のもとに、ここに改めて決意する。

70年前、被爆者が経験した原子爆弾による惨状の記憶を、世界の人々にもっと広く伝え、次世代を担う人々に粘り強く語り継ぎ、核兵器の廃絶と平和な世界への実現の願いを、もつと大きな声で世界に訴えていきたい。

原子爆弾で犠牲になられた方々に心から哀悼をささげるとともに、核兵器のない世界が実現するそのときまで、長崎市民として平和のために全力を尽くしていくものである。

以上、決議する。

平成27年7月8日